

動乱の1999年 私たちの主張

爆撃犯である米英以外の国連常任理事国でさえ非難したクリントンの暴挙を、最初に支持して世界中の失笑を買ったのが小淵。おまけに、旗色が悪いと見るや、「爆撃は支持するが、フセイン打倒までは……」とトーンダウンのお粗末。

新春山柳

一乱鬼龍

赤貧を洗ううさぎの赤裸
書初めは毒壊れの三文字より
恐慌へとつと難破か日本丸
新年会ボキヤ貧乏の悪い酒
根底から変えよと年の初めなり

「何でもありの時代」
世紀末を迎えた世界、そして日本を見ていると、そう思わざるを得ない。大は不倫弾劾の矛先をそらすためにイラクを爆撃したクリントンから、小は日々起こる殺人事件に至るまで、「そんなんありか?」と思うことの連続と言つていい。世はまさに「混沌・混乱」そして「動乱」の時代へと突入したのだ。

凡人・小淵の 暴挙・愚挙・愚策 の数々

◇バブルを煽った銀行・ゼネコンを税金で救済
住専、銀行への公費投入に続き、この年末には莫大な不良債権を抱えたゼネコンに対し、銀行の債権放棄が相次いだ。貸し渋りで資金繰りに行き詰まった中小企業経営者の自殺を尻目に、バブルを煽った張本人のゼネコンには気前良く何千億円もの借金を棒引き。しかもその金は、我々の税金や預金の金利をかすめ取った金で埋め合わせされるのだ!

軍備で守られるのは奴ら 管理されるのは我ら

そしてもう一つ、「そんなんありか?」と思わざるを得ないことがある。それは、これだけバカにされ、コケにされながら、既成政党の誰一人として内閣打倒を言わないことである。寄り合い所帯で政策も出せない民主、自

小淵政権を打ち倒そう

内閣総辞職・解散総選挙の声を!

「何でもあり」「そんなんありか?」の時代
ありか?」の時代

頭「の流れを受けて新年で決める。民主主義は一体何処へ行ってしまったのか。」
◇法務大臣が改憲・弁護権否定発言
自連立、「タカ派台」
etc, etc.....

自給をくらしの基本にしたいと思ひ、有機農業による穀物づくりを始めたい。一番基本になる米作りに取り組み、平行して大豆も作った。ソバも少し作ってみた。裏作には小麦を蒔いて、油をしぼるために菜種を植えた。どれも採算があわずに、プロの農家はあまり作ってこれなくなったものばかりだ。町での仕事の合間をぬってやる農作業は、いまの日本ではもともと一般的な農業の形態だ。農家は半数になり、農地や農業従事者は減りつづけ、平均年齢は上がりつづけている。三十七年におよぶ農業基本法農政の結果である。▼新農基法の骨格が固まった。「いのちとくらし」の基礎となる農業、とまがきは格調が高いが、中身は寄木細工の印象はまぬがれない。多面的機能や環境保全を評価すること、株式会社参入や市場原理促進がどうマッチングするのか、不明である。▼おもしろいのは、「国民参加型の自給率向上」という言葉だ。私の仲間は一三のグループで三年目を迎える。町の間が兼業農家になっていくプロセスを大事にしながら、わが家の自給率・地域の自給率の向上をめざそうと思つている。(I)

みずす書房刊「最終講義」を読んだ。分裂病の治療の現場で、三〇年間にわたつて患者と向きあつて来た精神科医の最終講義の記録である。現場を生きた人だけが到達しうる、抽象化されたその言葉の重さと深さに打ちのめされた。▼「心の生ぶ毛」と著者は言う。医者は治すのではなく、「治つてもらう」のであり、心の生ぶ毛のすり切れた人は、患者であれ医者であれ本人も不幸だし周囲の人間もつき合いたくないはずだ。という。▼最後に、どのような患者も、学者の記す分裂病ほどには十分に分裂病的でないこと。つまり、現実の患者は現実がすべてそうであるように、不完全に分裂病的であることを言い添えま。という言葉で講義はしめくくられていた。現実を直視し、現実と格闘する中から、人間を透視する眼がそこにはある。▼自分は、自分の専門領域で彼のように闘つて来ただろうか。新しい年を迎えて、自問して見る。果して、自分の専門領域すら持てていたのだろうか。▼世紀末。この五〇年のツケがまわつてくる。欲の皮だけが異常に厚くなった人間の脳ミソは、再び人類の血と汗の成果としての知性をとり戻すことができるのか。己の脳ミソはどうか。▼否。世界の戦場で、この瞬間も死闘を闘う戦士たちにたのみはない。彼らに連帯を、新年の雄叫びを。(M)

.....

去年の世相を表す漢字は「毒」だったが、今年の漢字はおそらく「首」だろう。凄まじい首切り旋風が吹き上げ、失業率は四%台から一挙に六%台に突入するだろう。「毒」はマネー感覚の類。たとすれば、「首」は日本の経営の破綻だ。行き着く果ては資本主義経済の墓場だが、残念ながら墓堀り人が見当たらない。▼今年のキーワードは、確実に市民の一票の力、投票率だろう。昨年七月の参議院選挙では、投票率一八%の上昇が橋本自民党内閣を崩壊させた。今年四月は統一地方選挙、衆議院解散総選挙もいつ起きても不思議ではない。投票率二〇%の上昇が実現すれば、自民党は確実に敗北し分裂するだろう。▼日本の政治は本格的な解体の混乱期に入る。情勢は変革主体を必要とする。革命期は革命家を生み育てて育てる。五〇年ぶりに巡ってきた時代の変革期、子供の反乱はすでに始まっている。子供たちの未来はこの子供たちが切り開くしかない。老兵はじつと見守るだけである。(F)

対アメリカのバブル崩壊と 世界経済の行方

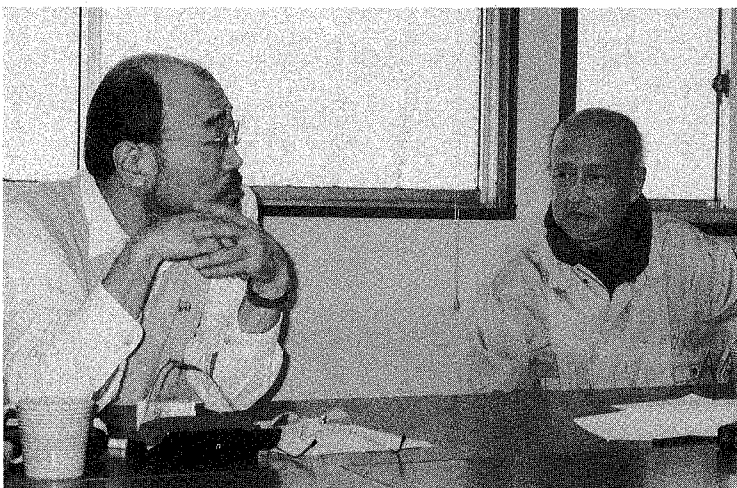
新年 特集

池野高理(大阪経済大学教員)・渡辺雄三(渡辺政治経済研究所)

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

1999年、世界経済は、そして長期不景気にあえぐ日本経済はどうなるのか。昨年、本紙が発行したブックレット『通貨危機を生み出す世界経済システム』の著者・池野高理さん(大阪経済大学教員)と、渡辺雄三さん(渡辺政治経済研究所所長)に、「世界・日本経済の行方」をテーマに対談をお願いした。

(見出・編集部)



(左)池野高理さん、(右)渡辺雄三さん

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

「北」による「南」の 収奪、という世界 システムの限界

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

ドルが局地通貨と なり、多面的な世界 システムへ

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

「世界恐慌」が現実味を帯びて語られ始めた。アジア、ロシア、そして中南米と、通貨危機が世界各地で連鎖的に発生、9月にはついにニューヨーク市場で株価が大暴落、ヘッジファンドが経営破綻を引き起こした。アメリカのバブル崩壊はもはや確実。年末にはユーロもスタート。世界はドル一極支配崩壊を前提として、その後の体制の模索へと動いている。

人民新聞
ブックレット

増刷出来
残部僅少
好評発売中!!

池野高理 著

通貨危機を生み出す 世界経済システム



投機マネーに翻弄される現代世界経済を簡明に分析・批判。「混迷の現代を読み解くのに最適、必読の一冊」と反響続々!

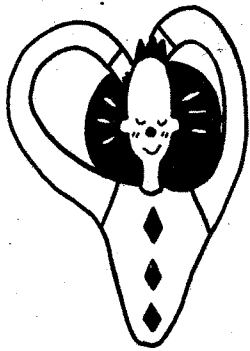
◇A5版 137ページ

◇頒価 1,000円

(5~9冊・900円 10冊以上・800円 いずれも送料別)

—お申し込みは人民新聞社まで—

新年特集



高度成長、バブルから
出口なき不況へ

では、日本のシステムは動かなくなつた。だけど、特権階級はそれを放したくないというので、官僚・政治家みんなそれにしがみついた。銀行も腐つていた。で、今までダラダラ七年間も引きずつてき

▼「渡辺」僕はやはり、八〇年代に日本の全体の生活レベルが欧米並に到達したときに、日本の国の政治体制なりを変えなきゃいけないかっただと思う。そこまで見通せなかつた僕らにも責任はあるかもしれないが、その意味で政治家の責任は大が惡かつたかというのが、だんだん人々の前に明らかになつてきた。

国家に全ての資本を集中して配分するというシステムは、とにかく通用しないというのはハッキリしてしまつた。本当は民主党なんかも、その意味でもつとハッキリ政策を出さなきゃいけない。

「追いつき、追い越せ」というかけ声では日本の国民は動かなくなつた。国家に全ての資金を集中して、官僚がそれを上から見て一番大切な所に配分していくというやり方

「家政策」が
人の「思い込み
意識」を作った

持
日
中

策」で、これが日本の高成長に非常に貢献したと思う。よく言われるが、その部品は三万点、ところどころは一〇万点。そういう意味では今、不況の中で住ローン減税とかが出てきているのは、資本の側はれがものすごく牽引力になるといふことをよく知っているからだ。ローンを払えなかったら家を没

い出されるわけだから、何
が何でも払っていく。だ
らずごい景気の引つ張
役になる。

高度成長のときに、田舎
から出てきた者にとつて
は都会には家がない。し

収奪の上 云の恐さ

本格的には一、二次産業で生み出した価値の配分が、けたから、この一、二次の問題をどうするかということだ。

でも今のままでいけば、製造業は衰退、一次産

業もダメというところで、いくら社会福祉が必要を生み出したとしても、それを食わしていくだけのものがなかったらこれは幻想でしかない。そうなるのと、どこから取ってくるかと言えば、よそから

アジアの収奪の上に立つ 「福祉社会」の恐さへ

ン持つてきて、収奪しながら日本で安い家を作った。その意味で、やっぱり持ち家政策というのは七〇年以降を象徴している。

▼〔渡辺〕僕は府営住宅に住んでいるが、すごく使い勝手が悪い。もっと質のいい公営住宅を作れば皆入ると思う。持ち家政策が日本人の思い込みの中流意識を作った元凶だと言っ

りで食っているだけだから、その一、二次の体力が落ちて来れば、七割が食えなくなるのは目に見えている。経済システムとして成り立つはずはないというのは、はっきりしている。

▼(渡辺) 対米関係で考えても、アメリカへかなりその部分を日本が輸出して

いる。当然アメリカからも日本にそんなに輸出するなということになるし、それはもつときつくなる。そういう意味では、日本の貿易加工立国という伝統路線を変えないと

がアジアに出ていって、アジアから収奪する。

▼【池野】でも、一、二次産業をどうするかという話になると、考え込んでしまふ。確かに今の若い人を見てみると、農業をやれと言ったつてできない。一方で農業基本法で、後継者難だから農業を企業に任そうという話

で明くるう
から身の毛

だん廃棄され始めていて、今の自動車から電機に波及していつて、その目鼻がつかなくつたら出口は見つからない。今政府が金融業にてこ入れしているが、金融業だけでは整つてもしょうがないやつぱり過剰生産設備もある程度廃棄して、新しい新分野の産業を興すということだ。

▼「池野」しかし、今まで
 だったら過剰生産設備が
 なくなつて、例えば新日鉄
 が工場を作る、トヨタが牛
 鋭工場を作るというの
 だったら分かるが、今新し
 い部門といつても、日本の
 場合、新しい部門というの
 は任天堂でありセガだ。そ
 んな設備投資なんて知れ
 ている。新日鉄が工場建て
 るのとセガがソフトを作

るのと比べれば、一〇〇〇分の一の規模だから、従来のように景気の牽引役としての設備投資というパターンが、これから同じように行くのかという問題がある。

▼(渡辺)「だけど、神戸沖空
港ではあれだけの署名が
集まった。僕はその意味で
は、やっぱり震災で苦勞し
た神戸の人たちは健全な
のかなあとと思う。国の主
導でお金をあんなところに
投入して何やってるんだ

と。芽はまだ残っているの
ではないか。

(つづく)

(555)

乱鬼龍

野宿テント強制撤去

歴史的暴挙に激しい抗議 大阪市



撤去作業は、八時半からの予定だったが、労働者・市民約一〇〇〇人が抗議のため集まり、テント生活者らでつくる青空自治会を先頭にあちこち

大阪市は、一月二八日午前、西成区の今宮中学校南側にある野宿生活者のテント三三張りを強制撤去した。テント生活者は、不況の、そして行政の社会政策失敗の最大の犠牲者。寒風吹き荒ぶなか、正月を前にして彼らを強制排除した大阪市の暴挙は、歴史に残るだろう。



■強制撤去の前日(27日)、テント生活をしていた中本さん(58才)が亡くなった。青空自治会は祭壇をつくり、「中本さんの遺志を引き継ぎ、テントを守ろう」と呼びかけた



■市職員に抗議する青空自治会員と支援者。職員は唯々、無言



■大阪市は、32のテント(所有者35人)撤去のため、職員250名、警察官300名を動員した

で抗議活動を展開。焚き火の煙が凄々(もうもう)とするなか、警察に先導された市職員二五〇名が、九時頃撤去作業を開始した。

青空自治会は、「これは俺たちの家だ。自分の家を撤去されて、誰が黙っておられるか!作業を中止構えだ。」

しろ!」と抗議を続けたが、九時半頃、警察が大量導入され撤去作業が一気に加速。一時半、撤去作業は終わった。

撤去後、大阪市は、歩道に重さ二二〇kgのフラワーポット一三〇基を置き、テントを張れないようにした。

しかし、青空自治会に所属する半数以上のテント生活者はこの日の朝までに近くの公園にテントを移動させていたため、今後は、公園からの立ち退きをめぐって大阪市との攻防となる。

住民監査請求

九七年七月三〇日、「市民の会」メンバーを中心とする一七人の市民が、五月七日に結ばれた、大池小学校地下駐車場の「設計委託契約」の設計委託費について住民監査請求を行いました。

請求の理由を監査請求書に、「五六台の駐車場に九億円の費用を投じることは税金の無駄づかいである。今年三月の定例議会では「PTAと十二分に協議を持ち一定の理解を得られるような最大限の努力をする」という意見が出され、豊中市は「PTAの理解を得ながら進める」と回答しており、PTAの合意が得られな

九八年四月に豊中市長選が行われました。候補者は、自民党と共産党で九億円の費用を投じることは税金の無駄づかいである。今年三月の定例議会では「PTAと十二分に協議を持ち一定の理解を得られるような最大限の努力をする」という意見が出され、豊中市は「PTAの理解を得ながら進める」と回答しており、PTAの合意が得られな

可能性が高く、当該契約は不当」と述べ、「今回の契約行為はPTA等地元意向や文部省通知・大阪府基本方針に反していても構わない」という豊中市の放漫な財政運営と尊大かつ傲慢な行政姿勢の一端を露呈したものである」と豊中市行政を批判しました。

監査請求を行うために「市民の会」は請求の要件などについて調査し、弁護士に求めてもらって、監査請求の方法や内容についての学習会も行いました。この、住民監査請求は多くの新聞やTV・ラジオが報道することになり、市民に知られることになったといきました。批判的に特集を組んだTVもありました。

しかし、九七年九月二五日、豊中市監査委員は「違法性の問題が生じないはずであり、基本設計の変更は免れず、設計委託費は豊中市財政に対する損害として発生する

九八年四月に豊中市長選が行われました。候補者は、自民党と共産党で九億円の費用を投じることは税金の無駄づかいである。今年三月の定例議会では「PTAと十二分に協議を持ち一定の理解を得られるような最大限の努力をする」という意見が出され、豊中市は「PTAの理解を得ながら進める」と回答しており、PTAの合意が得られな

九八年四月に豊中市長選が行われました。候補者は、自民党と共産党で九億円の費用を投じることは税金の無駄づかいである。今年三月の定例議会では「PTAと十二分に協議を持ち一定の理解を得られるような最大限の努力をする」という意見が出され、豊中市は「PTAの理解を得ながら進める」と回答しており、PTAの合意が得られな

九八年四月に豊中市長選が行われました。候補者は、自民党と共産党で九億円の費用を投じることは税金の無駄づかいである。今年三月の定例議会では「PTAと十二分に協議を持ち一定の理解を得られるような最大限の努力をする」という意見が出され、豊中市は「PTAの理解を得ながら進める」と回答しており、PTAの合意が得られな

公共事業 決定したら止まらない

こうして止めた④

豊中の子どもの教育と権利を守る市民の会

これは、豊中市大池小学校地下駐車場計画を中止に追い込んだ市民の取り組みの全記録である。

九八年六月四日、建設省と文部省と話し合いを持ちました。建設省が地下駐車場に補助金を与えるとの内示を与えたことなどについての話し合いのためです。無所属の市会議員である一市議員から、社民党で市民派の衆議院議員中川ともこ議員を通じて行いました。東京に私と一市議員が行きました。建設省にも、豊中市が

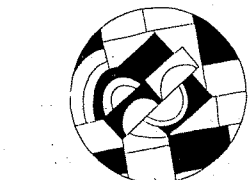
九八年六月四日、建設省と文部省と話し合いを持ちました。建設省が地下駐車場に補助金を与えるとの内示を与えたことなどについての話し合いのためです。無所属の市会議員である一市議員から、社民党で市民派の衆議院議員中川ともこ議員を通じて行いました。東京に私と一市議員が行きました。建設省にも、豊中市が

九八年六月四日、建設省と文部省と話し合いを持ちました。建設省が地下駐車場に補助金を与えるとの内示を与えたことなどについての話し合いのためです。無所属の市会議員である一市議員から、社民党で市民派の衆議院議員中川ともこ議員を通じて行いました。東京に私と一市議員が行きました。建設省にも、豊中市が

九八年六月四日、建設省と文部省と話し合いを持ちました。建設省が地下駐車場に補助金を与えるとの内示を与えたことなどについての話し合いのためです。無所属の市会議員である一市議員から、社民党で市民派の衆議院議員中川ともこ議員を通じて行いました。東京に私と一市議員が行きました。建設省にも、豊中市が

九八年六月四日、建設省と文部省と話し合いを持ちました。建設省が地下駐車場に補助金を与えるとの内示を与えたことなどについての話し合いのためです。無所属の市会議員である一市議員から、社民党で市民派の衆議院議員中川ともこ議員を通じて行いました。東京に私と一市議員が行きました。建設省にも、豊中市が

九八年六月四日、建設省と文部省と話し合いを持ちました。建設省が地下駐車場に補助金を与えるとの内示を与えたことなどについての話し合いのためです。無所属の市会議員である一市議員から、社民党で市民派の衆議院議員中川ともこ議員を通じて行いました。東京に私と一市議員が行きました。建設省にも、豊中市が



(つづく、次回最終回)

人民に力を！共に闘わん

◆千葉・中村秀樹

◆二〇世紀は、金融資本主義の世紀。

金融資本は、預金者、出資者、投機家、生保や年金資金など……に金利や配当を払うべく、より高利

潤をあげることが宿命づけられた資本。そのためにより人間の物欲、食欲、性欲を煽って人々の消費をかきたてています。

その欲望のターゲットとされたのが自然であり、動植物であり、金融資本の餌食とされた弱小資本の国の民でした。自然を壊した快適な生活、動物を殺し

一七年ぶりに祖国の地を踏む

◆大阪・梁官涪

謹んで新年のお喜びを申し上げます

昨年は韓国において私が尊敬してきた金大中大統領の国民の政府が発足されたお陰で、私は来日して一七年度に自由な祖国の地を踏むことができた。三回往來しながら、親戚、兄弟、多くの友人と同志たちに久しぶりに再会しました。葬式にも参加できなかった両親と兄弟のお墓参りをしました。胸が裂ける思いでしたが、天国におられる両親に長い間の不幸を許していただくようにお祈り

風穴をあけるバク記事

◆米田・城崎

いつも送っていた、世の中、とりわけ日本のおかしな姿を暴きつづけて下さい。そういう意味でこの（裏の）絵は御紙にぴったりと考えました。別の紙誌などから得た情報なども合わせて考



◆以下は、僕の当面の社会に対する試案です。

▽共まなびをあらゆる「教育」関係の施設で保障すること。

▽解雇制限法を制定すること。

▽資本は利益の半分を資本を投資した地域の民に支払うこと。

▽共生の思想を広め、略奪と詐欺に基づき利益をあげる金融資本主義とその傭兵としての共生の敵米田権力を放逐すること。

▽超自然権としての共生権を確立させること。

えると、なるほどこのおかしな国の人々は、沖繩などで米兵による婦女暴行事件が起つても知らぬ顔を決めこみ、逆に「ガイドライン」などという軍事同盟を強化し、他方では在日アジア人や第三世界の人々に対しては歴史を無視した差別言動が平然とまかり通るわけだ。……と腹立たしい思い、その根つこの流れがつかめるように感じます。ハッカリをやつてでもそんな連中の顔に風穴をあけるような、バク記事をお願いしたい、という思いです。

いっそうの経営努力「協同」のありがたみを感じています

●協同センター・労働情報

新年、明けましておめでとございます。

昨年は失業率、有効求人倍率が史上最悪となり、企業倒産も相次ぐなど、労働者の生活と権利を脅かす状況に終始しました。こうした中で労働組合の存在価値が問われましたが、労働法改正の改悪に対しては、労働法改正「NO」の全国運動が展開されるなど展望の兆しも見えはじめている。

投稿欄・論議の活性化へー編集部からお願い

「雷鳴胎動謹賀新年」は、一九九八年人民新聞新年号の一面見出しでした。世は正に雷が鳴り、地は大きく動き始めたようでした。そこで人民新聞では、「百家争鳴」「談論風発」の投稿欄を目標し、乱世に見合う活発な論争を読者の皆さんに呼びかけたいと思います。

①ホットな話題、頭にくることを中心に、時々のテーマを決めたいと思います。内容については、これまで通りタブーはありません。

②より多くの投稿を掲載するため、字数については四〇〇字を目安にしてください。この字数を超える投稿については、編集部に一報いただくか、編集部で要約させていただきます。それに合わせて投稿用ハガキも大きくする予定です。

言いたいことを四〇〇字に凝縮してどしどし投稿をお願いします。

《ご意見募集中！》

◇アメリカのイラク爆撃

◇「商品券」配布について

自然法爾で生きていきたい

●東京・遠藤誠

明けておめでとございます。ところで、今から七六三年前、道元禪師は、次のように申されました（「正法眼蔵随聞記」）「うげんぞうずいもんき」岩波文庫昭和五四年版一〇五頁。

「病を治（じ）するにはためにかえて悪くなる減するもあり、増（ぞう）するもあり。亦、治せざれども減じ、治するに増するもあり。これをよくよく思い分くべきなり」。

つまり、「病氣になった場合、医者に治療してもらったために直ることもあれば、医者に治されたために悪くなる」ということを言っています。そのよ

こともある。又、医者にからず直ることもあれば、医者にからず直らないために悪化するものもある。という意味です。すなわち、それぞれに寿命があるということ。

私は、体の調子が悪くなると、よく人から「医者に見てもらいなさい」と言われます。しかし私は、治療して直る病気でなければ、医者にかかりませんが、治療しても直らない病気があったら、医者に行かないでそのまま仕事をし、仕事をしながら死ぬことにしています。

このことを、親鸞聖人は、「自然法爾（しぜんぽうに）と申されました。自然法爾とは、始めのない過去から終わりのない未来にかけて、この天地大宇宙を生きてつづけるもの。大いなるいのち。宇宙の大生命。宇宙意志。すなわち法身（ほっしん）ぶつ（ぶつ）のうながしのまにまに生き、己ののこごかしはからいを捨て切ることを言っています。そのよ

編集一言

＊今年は久しぶりに年賀状を書いた。全国ツアールで出会った人々を中心に、昨年一年間に新聞として関係した人々になにが、心配になる。気候が、お年寄りの言葉が、心配を拍車させる。みなさまの無事の一年を祈念します。（中村）

を増やすことができる。か。あ、今年もガンバルぞ。（H・K）

＊友人が「一級建築士の試験にパスした。それ自体はめでたいのだが、何分絶対に不可能と言われた彼だけに、宇宙の調和と律への悪影響が、心配になる。気候が、お年寄りの言葉が、心配を拍車させる。みなさまの無事の一年を祈念します。（中村）

うに生きていると、体が軽くなり、心が軽くなります。私は、今年も、そのように生きて行きます。

デマ宣伝を許さない

●よこしま西人連隊の会

明けましておめでとございます。

朝鮮民主主義人民共和国や「よど号」グループへのデマ宣伝を許さず共に闘いましょう！また、「朝鮮総連」への弾圧に反撃しましょう！

金権腐敗、弱肉強食の世を、人が人として人らしく共に生きられる世に！

「人間の国」を共に創りましょう！

We shall overcome some day.（我らいつれ勝つ！）

上告裁判に負ければ、無罪なのに不当な「無期懲役刑」が確定しますが、慢性心不全何のその、生涯闘争で引き抜きます！

辛苦も亦楽し！

金権腐敗、弱肉強食の世を、人が人として人らしく共に生きられる世に！

「人間の国」を共に創りましょう！

謹賀新年！

●東海・丸岡修

情報ひろば

● 関東 ●

- ▶「いろいろばた会議」
- ◇1月22日（金）PM6:30～9:00／「爆撃下のイラク民衆と放射能」・伊藤政子／「阪神大震災4周年一忘れまい地震災害を」・原田裕史／ビデオ上映「12・4東京電力との対話集会の模様」・東井裕／神保区民館（水道橋駅）／700円／連絡・TEL03-3238-9035（たんぼぼ舎）
- ▶ドキュメンタリー映画「鯨取りの海」上映
- ◇1月30日（土）～2月12日（金）AM11:00～／BOX中野（JR東中野）400円／シグロ／連絡・TEL03-5343-6101

● 関西 ●

- ▶周辺事態法を廃案へ 戦争協力をしない、させない1・21関西集会
- ◇1月21日（木）PM6:00～集会・PM7:00～デモ／扇町公園（地下鉄・扇町）／連絡・TEL06-6364-0123（関西共同行動）
- ▶甲山事件・第二次控訴審第1回公判
- ◇1月22日（金）AM10:00～PM4:00／大阪高裁大法院（淀屋橋駅）／連絡・TEL06-6351-7278（甲山事件救援会）
- ▶大阪哲学学校「医療と哲学⑦」
- ◇1月23日（土）PM3:00～7:00／「X環境ホルモン、環境とホルモ」／講師・小林昌廣（京都芸短大）／尼崎労働福祉会館（阪神・尼崎）／連絡・TEL078-981-2210
- ▶民族差別を考える在日同胞保護者の集い
- ◇1月24日（日）PM2:00～5:00／大阪市中央青年センター（森ノ宮駅）／500円（会場カンパ）／連絡・TEL06-6779-4944（同胞保護者連絡会）
- ▶甲山事件・第二次控訴審第2回公判
- ◇1月29日（金）AM10:00～PM4:00／大阪高裁大法院（淀屋橋駅）／連絡・TEL06-6351-7278（甲山事件救援会）
- ▶京都・当番弁護士を支える会
- ◇1月30日（日）PM2:00～5:00／シンポジウム「少年事件と当番弁護士・付添人活動」／パネラー・安保千秋・中村多美子／京都弁護士会館／300円（会員無料）

● その他 ●

- ▶刑事裁判実質勝訴と解雇無効仮処分勝利決定を祝う会
- ◇1月27日（水）PM7:00～／リコランド会館（JR博多）／1,000円（要連絡）／青柳さんへの不当弾圧を許さない会／連絡・TEL092-621-6211（青柳）